

岸辺にふるさとの草花をよみがえらせよう！

— 他地域の実践に学び、江戸川の生物多様性を育む —



左の上下の写真は、江戸川の「国府台フジバカマの里」全景と再生実験の様子。右の下の写真は、在来植物再生のために小貝川で行われている野焼き。右上で、小貝川で器具の使用法の説明をしている方が、今回の講師西廣淳さん。右の中の写真はフジバカマ。



河川の改修工事、外来種の侵入などの影響で、全国の河川環境が急速に豊かさを失いつつあります。残念ながら、江戸川も同じです。しかし、全国で「美しく、生物たちが賑わう豊かな川を取り戻そう！」という活動が始まっています。そこで、河岸の自然再生の理論と方法、そしてそれに基づく各地の取り組みとその成果について、「保全生態学」の専門家西廣淳さんに、わかりやすくお話ししていただきます。

日時：2月18日（日） 午後1時半から午後4時半

会場：市川中央公民館 市川市八幡 4-2-1、Tel 047-334-4279 JR 総武線本八幡駅北口から徒歩8分、京成八幡駅から徒歩5分、駐車場有、葛飾八幡宮境内内

講師：西廣 淳さん（東邦大学理学部生命圏環境科学科 准教授）

参加費：300円（資料代・会場費）事前申し込み不要